

## 議事要旨

<b>名称</b>	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりに関する意見交換		
<b>日時</b>	令和5年12月7日(木) 18時00分～20時10分	<b>場所</b>	杉並区役所
<b>出席者</b>	<p>○参加者： 「阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりを振り返る会」参加者有志 7名</p> <p>●杉並区： 政策経営部施設マネジメント担当課長、都市整備部市街地整備課長、拠点整備担当課長（事業調整担当課長）、都市企画担当課長（事業調整担当課長）、教育委員会事務局学校整備課長、政策経営部企画課施設マネジメント担当係長、教育委員会事務局学校整備課教育施設計画推進担当係長</p>		
<b>配布資料</b>			
・阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりオープンハウス資料 12月7日版（抜粋）			
<b>会議記録（要旨）</b>			
<p>●杉並区：振り返る会で区長から話があったように、区長が会に参加されていない方からの意見も聞くとしていたことを受けて、こちらからお声をかけたところ。日程の再調整をし、区長は参加できないが、そういった趣旨でお越しいただいた。事前に要望もいただいていた内容も含めて、新たに資料を作成したので、まずは、その説明をさせていただき、その後、意見交換をしたい。</p> <p>○参加者：今日の位置づけは、他の団体と今行っている北東まちづくりに関する意見交換ではなく、オープンハウスのやり方等に関する実務的な意見交換と認識。まず、11月15日に渡した要望書への対応状況等を返答願いたい。</p> <p>○参加者：オープンハウスで聞くので、今は資料の説明は不要。それよりも、オープンハウスの進め方について話し合いたい。</p> <p>●杉並区：要望1点目「次回対話の機会を設けること」については、年内の開催は事実上難しい。今後行う様々な団体との意見交換した結果のまとめも含めて、1月下旬目処に何らかの考え方を示す会を行う方向で検討している。</p> <p>○参加者：私たちは全体に対して誰でも参加できる会の開催を要求している。</p> <p>●杉並区：1月下旬を予定している区の考え方を示しかたの具体的な方法等については検討中。</p> <p>○参加者：区の考え方を示すとは、現計画のまま進めるかどうかの表明なのか。</p> <p>○参加者：1月下旬となると議会直前。その後に議論するとなると、3月になってしまう。一方的に説明されただけでその後放置とならないようにしてほしい。区長参加は難しいかもしれないが、予算特別委員会中に会を行う方法も考えられる。</p> <p>○参加者：今行っている各団体との意見交換が、「振り返る会」の継続会ではないとの認識でよいか。</p> <p>●杉並区：それでよい。</p> <p>○参加者：1月下旬の何らかの会はシンポジウム形式ではないほうが良い。西荻では、道路問題等でシンポジウムをしたが、あれでは聞くだけで話し合いの場ではな</p>			

く、受け入れがたい。

●杉並区：ご意見として承る。

●杉並区：要望2点目「振り返る会の名称を変更すること」は、様々ご意見をいただいていることもあり、次回は使う考えはない。

要望3点目①「区長の進行役はやめてほしい」は、要望1や2とともに開催内容も含めて検討中であり、ご意見として承る。

要望3点目②「杉一小保護者、住民が参加しやすい環境づくり」は、ご意見として承る。会場は十分な大きさを用意したいと考えている。

○参加者：要望の趣旨は、それ以外の人たちを排除した会とすることではない。

オープンハウスの周知範囲が狭くないか。

●杉並区：オープンハウスの開催は、振り返る会にご参加いただけなかった方など、今まで意見を聞けていない方々からもしっかりと意見を聞いていきたいとの意図。

○参加者：保護者等が参加しやすいという意味では、私たちがオープンハウスを提案して、それが受け入れられたのはよかったと思う。

●杉並区：要望3点目③「十分な告知期間」は、可能な限りとっていく。

要望3点目④「エビデンスを示す」は、こうした観点も踏まえ、パネル資料にした。

要望3点目⑥「進行について」は、今後検討する。ご意見として受け止める。

○参加者：11月22日に送った要求資料リストはどうなっているか。

●杉並区：区のホームページに載っているものもかなりあり、そうしたものはホームページを案内していくイメージでいる。その他は、力を入れてパネル資料の作成に取り組んでおり、一問一答でお返しする資料の作成まで至っていないが、かなりカバー出来るため、パネルを見てもらいたい。オープンハウス当日のパネルには、本日の資料に加えて、8月31日の振り返る会の資料の一部もパネルで説明する予定でいる。

○参加者：オープンハウスでは、是非模型を置いてほしい。

○参加者：模型があるなら日影のシミュレーションもしてほしい。

●杉並区：日影は部屋を真っ暗にする必要があるなど、いろいろ難しい。パネルはA1で印刷して展示するので、大きく見やすくなる。

○参加者：追加資料のうちQ-1の内容については、「私法上の契約と同等」という文章はちがう。10月の資料は「同等とも解される」や、3者間で合意できれば変えられるという趣旨が入っていたので間違っただけではなかった。誤解を与える記載になっているので見直してほしい。三者で協議をすれば違法にはならないはずだ。区が計画を変更するだけで違法行為かのような書き方になっている。

●杉並区：資料の見直しについては、ご意見として承る。施行者間の合意なく、区が一方的に計画を変えたりやめたりすることは当然協定に反することから、資料には「方針を定めた区自らが反故にすることは」と記載している。

○参加者：オープンハウス参加者が、気になったパネルに意見を書いた付箋を貼るなど、参加者の意見を他者と共有できるようにしてほしい。パネルに貼るのが難しければ、ご意見ボード（模造紙など）を用意して張るなどでも良い。

- 参加者：このパネルについての意見というように分かるようにしてほしい。
- 参加者：パネル展示でも付箋で意見を出せる仕組みを考えてほしい。
- 参加者：アンケートは、Web だけでなく紙でも答えられるようにしてほしい。
- 杉並区：オープンハウス当日やパネル展示の際は、紙のアンケート用紙を用意する。
- 参加者：行政と住民のギャップを埋めていくのが課題。パネル資料でも、Qに対してAを対応させて正面から答えてほしい。これまで住民から寄せられた、不安や疑問の声もパネルで展示して欲しい。要望書も公表してもらってよい。
- 杉並区：既にホームページで公表している議事録などを会場に置いておくことは可能。
- 参加者：これまでの対話の中で、行政と区民とで意見と回答がかみ合っていない部分があるが、区の一方向的な説明がパネル資料になっている。区の主張だけでなく、これまで出ている住民からの声もパネル化して、対話の経過が分かるようにしてほしい。
- 杉並区：議事録はホームページに載せている。会場には紙で用意するやり方もあるが、パネル化は難しい。オープンハウスの目的は、振り返る会に参加されていない方に事業について知ってほしいということだ。そのため、これまで使った資料を中心にパネルを作成している。
- 参加者：これまで区が出したことに「違うよ」と区民が言ってきたことが、そのまま訂正されない形で、初めて聞く区民にも伝わっていて、それが問題である。
- 参加者：8月も10月もかみ合っていなかった。行政と住民が同じ情報量で共有していかないと歩み寄れない。オープンハウスは初めての人でも初歩的な説明を受けて話し合いに入れるという点で我々も提案した。10月は資料が文章だけだったので分かりにくかった。今回、パネル化されていて、日影や騒音の課題について説明しようとする区の努力は見える。しかし、これまで住民側から出てきた意見を共有することも大事だと思う。
- 杉並区：8月の質問への質問を10月に回答し、10月に更に出た質問を今回パネル資料にしている。住民側からのご意見も議事録の公開等で資料にしていきたいと考えている。
- 参加者：8月の会、10月の会で出た意見に区は答えていない部分もあると思う。特に保護者や在校生から出た不安に対する回答が不十分な部分もある。例えば、杉一移転案での近隣との問題に対して、区は「努力します」との回答だけだった。
- 杉並区：まだ移転に向けた具体的な動きが始まっていない段階では、学校が移転した場合の課題に対する具体的な対応策等について回答することは難しい。近隣とも直接話をしていない中では、想定の中で抽象的な答えしかできない。
- 参加者：現時点で、C 街区近隣住民への説明や意見聴取が不十分なことは問題だと思う。
- 杉並区：今後、近隣からもご意見を聞いて課題について検討を進めて行く。
- 参加者：各団体と意見交換した結果はオープンハウスには反映できないのか。
- 杉並区：議事録が準備できた段階で、ホームページで公開する予定である。
- 参加者：杉一小跡地について書いてある資料を見ると、移転ありきに見える。
- 杉並区：これまでの会で、跡地に何が出来るのか、タワマンが出来るのかなど様々ご意

見をいただいたので資料を作成して区の考えを示している。また、小学校を現地改築出来ないかというご意見もあったので、現地改築した場合と移転改築した場合が比較できる資料も作成した。

- 参加者：三者で合意できれば現地改築できると考えている。その可能性がどこまであるのかを区民は対話を通じて知りたい。資料として、現地改築案を載せてくれたのはよかった。
- 参加者：「区民同士の意見交換」とはどのようなイメージか。
- 杉並区：説明会方式ではなく、区民同士での意見交換を考えているが、固めきってはいない。
- 杉並区：総合計画・実行計画の説明会でやったような、オープンハウス形式+車座をイメージしている部分もある。意見交換の会場は、12/13の区民センターはパネル展示とは別室で、他の日程では同じ会場を予定している。
- 参加者：そのときは、全員一言ずつで終わってしまい、他者の意見を聞くことはできたが、話し合いにはならなかった。感想を共有した程度だった。
- 参加者：住民と行政のオープンな話し合いの場とすることで、行政とも話せるし、そのやりとりを通して他者の意見も知れる。
- 杉並区：車座を行うことは区長からの提案もあって実施する。
- 参加者：意見交換の場に職員を配置して、質疑応答に対応してほしい。
- 杉並区：同時並行のオープンハウスも職員を配置してしっかりやりたいので、マンパワー的に厳しい。限られた時間と人材で対応していることを理解していただきたい。
- 参加者：行政側と話せないで議論が深まらない。
- 参加者：10月の会は文書だけで、絵がなかったのでわかりづらかったので、オープンハウスを提案した。最後の1時間の会は、案内の仕方など工夫して有意義なものにしてほしい。
- 杉並区：区民が個別に聞きたいことが聞けることを目指して、オープンハウスに参加することのハードルを下げると、平日の午前・午後、休日という時間帯を設定した。最後の1時間を説明にしたいが、参加いただく工夫はしたい。
- 参加者：テーブルレイクのようにできないか。お茶菓子など、何かないとほぐれない。
- 杉並区：サロンの様なイメージが良いのではという考えもある。区民の中に行政も入り、ざっくばらんに、区民と行政の1対1だけでなく、区民同士も話す、同じ輪の中で意見交換できる方法もあるかもしれない。
- 参加者：施設再編の意見交換会のような区民と職員の小グループで、テーマ別のグループによる意見交換は可能か。
- 杉並区：限られた時間や参加者の人数にもよるので、予め設定するのは難しい。
- 参加者：パネルは持ち帰り用に印刷したものを用意してほしい。
- 杉並区：会場に準備する。
- 参加者：ロビー展示の間、X(旧 twitter)等で周知してガイドしたいと思っているが、よいか。日比谷公園の時も、都の職員とは別の詳しい人がガイドをしてくれた。できれば動画もとりたい。

- 杉並区：職員は常駐していないので、呼び込みなど、区の職員と誤解されることは避けたい。例えば、グループで来て詳しい人が解説することがあったとしても、区として止めることではない。
- 参加者：動画撮影は可能か。
- 杉並区：施設管理側の判断による。この場で答えるのは難しい事もあるので、やりたいことをまとめていただければ検討する。
- 参加者：パネル説明と意見交換会の職員配置を工夫してほしい。
- 杉並区：事務局としては、限られた職員、時間の中でオープンハウスをしっかりとやりたいと思っている。様々なことを同時進行でやっているの、大変であり、みなさんのご希望に 100%答えることはできないことを理解してほしい。8 月 31 日の資料については、ナレーション付きでパワポの動画を会場で上映する予定。
- 参加者：オープンハウスの記録は残すのか。パネルの前で話したことの記録も残してほしい。どんな質問が多かったのかを把握してほしい。
- 杉並区：最後にアンケートでご意見を書いてもらうことを想定している。パネルの前での質疑についても、記録に残せないか検討する。
- 参加者：アンケート用紙は自由意見だけではなく、特に気になったパネルなどのアンケート項目を用意した方が書きやすいのではないか。
- 参加者：佐藤総合計画作成の比較表が区の判断の基本になっていたはず。会場に展示するか、置くことできないか。
- 杉並区：現在ホームページに掲載している。会場の広さの都合もありパネル化は考えていない。何かしら資料を置くことを検討する。佐藤総合の資料はあくまで区の判断材料の一部である。
- 参加者：資料をニュートラルな状態で出して、それを区民が見て判断できるようにしてほしい。
- 参加者：10 月は席上で置かせてもらったのと同様に、こちらで作ったプリントを参加者に配りたい。区民から出ている要望書なども会場に置いてほしい。
- 杉並区：区が主催するイベントなので、区の資料か参加者が作った資料かが判別できない状況にはしたくない。例えば、入口で来た人全員に配るなどは難しい。今回は参加者全体に同一の案内ができない。参加のハードルを上げたくないとの思いもある。
- 参加者：12 月 19 日の保護者や近隣住民を対象にした意見交換会は、振り返る会の様な会を想定しているのか。資料は何を使うのか。これまでの区民の意見も共有してほしい。
- 杉並区：区長との意見交換を目的としている。8 月の資料とオープンハウスの資料を配布する予定である。
- 参加者：オープンハウスと 12 月 19 日の会の周知の状況等を知りたい
- 杉並区：北東地区計画の周囲 50m の範囲にオープンハウスのチラシ (3,000 部程度) をポスティングし、C 街区の周囲 50m の範囲の住民には 12 月 19 日の案内 (1,000 部程度) も同封した。保護者には学校を通じて配布した。

- 参加者：再度継続した話し合いの会を要望したい。一方的に聞くシンポジウムではない形で開催してほしい。
- 杉並区：要望として承る。
- 参加者：振り返る会に参加した多くの人から、次はいつやるのか聞かれる。多く的人是は続きの会が開催されると捉えている。
- 杉並区：現段階では未定である。
- 参加者：区長も言っていたが、様々な立場の区民が同じテーブルで話し合うことを目指して話し合いを継続したい。阿佐ヶ谷の将来のため、分断を残さないようにしたい。どこかで、一方的に方向性を示すことはやめてほしい。皆で話し合った結果として方向性を出せたら良いと思う。
- 参加者：杉一小の魅力を定義するという点はどうなったのか。今後いつ示されるのか。保護者は魅力が継承されないことを危惧している。
- 杉並区：改築検討懇談会で、学校の特長や改築で継承したいことをビジョンや基本方針として検討することになる。A案を検討した際に一度とりまとめて示している。B案に決めた際には、A案の整備コンセプト・整備方針を可能な限り継承することとし、教育環境の上の特色を踏まえた音楽室機能の充実等が図れる施設・設備を計画することを定めている。